

介護保険料の2025年推計が判明！

福岡県議会議員
【古賀市】

田辺かずき 県政報告

古賀発！ただいま
県政刷新中！

～第32号～
2016年1月発行

＜田辺かずき事務所＞
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■市民劇団に友情出演！
■バンコク都を友好訪問
■各地で対話集会を開催
餅つきで地域を駆ける

12月定例会、知事が初めて公表

田辺の議会提案を受け

田辺一城の 発信箱

□申年、
年男として
2016年が
始まりました。
本年は申年、私
は年男です。お

正月は地元・古賀市内各地の
神社やお寺を回らせていただ
き、政治家としての信念であ
る「対話の実践」による民主

主義の確立のため、一層活動
していくことを誓いました。
これまで以上に現場主義を貫
き、住民の皆様への「声」を聞
かせていただき、政策づくり
に努めます。

□19回目の本会議質問

福岡県議会12月定例会（12
月1日～12月18日）が開催さ
れ、私は1期目からの通算で
連続19回目となる本会議質問
（一般質問）に臨みました。

私は介護予防と健康づくりの
政策展開に当たり、「団塊の
世代」が全て75歳以上となる
2025（平成37）年度にお
ける福岡県の介護保険料（月
額）の推計の必要性を提起し、
小川洋知事は8072円とな
ることを初めて明らかにしま
した。今年度の5632円に
比べて43%の増加となります。

□健康づくりの推進を

この新たな事実については

質問翌日に西日本新聞が報道
し、注目が集まりました。今
後、この推計の額をいかに抑
えていくかが政策展開の重要
なポイントです。私たちが住
み慣れた地域で安心して生活
できる社会を構築するため、
介護サービスの提供体制に加
えて、健康寿命の延伸を図り
生活の質を高め、ひいては介
護給付費などの削減にもつな
がる健康づくりや介護予防等
に取り組んでいきます。

□誰もが生きやすい社会へ

政治の最も重要な役割は、
私たち一人一人の生き方が尊
重される社会、多様性を大切
にして共に支え合う社会、誰
もが自己実現を図れる社会の
構築です。引き続き、地域に
おける医療・介護体制の充実
に加え、子育てをサポートす
る政策展開が諸外国に比べて
不十分な現状の根本的な改善
、経済格差が学力格差につなが
る貧困問題の解消などに重点
的に取り組んでまいります。
本年もご指導ご鞭撻のほどよ
ろしくお願いいたします。

介護保険料 25年度8072円 平均月額県推計

県は10月、65歳以上が支払う介護保険料に
ついて、2025年度の県内平均月額を0
72円と推計し、本年度の5632円から4割
超アップする推計を明らかにした。県議会の
一般質問で、小川洋知事が答弁した。
介護保険料を運営する財源は、市町村や
広域連合の平均額で、利用者の負担割合
と現行制度が維持されることを前提とし
た。平均額の最高は嘉麻市9067円、最低
は糸島市6317円。利用者の1割負担率
いたる年度の介護給付費は5510億円とな
り、14年度の3686億円の1.5倍に膨
らむ見込みという。

田辺が引き出した新事実を報じる西日本新聞 2015年12月11日付朝刊



介護保険料の推計が初めて明らかになった一般質問＝12月10日



私の事務所にはいつも干
支の置物を飾っています。
社会福祉法人・福岡コロ
ニーの障がい者就労継続支
援B型事業所「なのみ工
芸」（古賀市）の皆さんが
作っている「さをり織り」
の作品で、毎年楽しみにし
ています。あわせて、今年
は年男なので立派な干支瓦
も事務所に登場しています。
気軽にお立ち寄りください。

田辺の政治活動を連日発信しています！

田辺かずき

で 検索

ブログ（政治活動日記）
公式ホームページ

facebook
Twitter

http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/
http://www.tanabe-kazuki.jp/
http://www.facebook.com/kazuki.tanabe
アカウント→ @tanabe_kazuki

裏面へつづきます

青少年の健全育成と文化振興を推進！

市民劇団ダイコーンに友情出演



劇団の子どもたちはみんな笑顔で生き生き
= 2015年12月26日

地元・古賀市が誇る市民劇団DAIKOON（ダイコーン）のオリジナルミュージカル「嵐の夜々々」が12月26日、リーパズプラザ（市中央公民館）で上演されました。私は3年連続3回目の友情出演。今回は消防団員役として重要な場面のひとつも任せていただきました。高校時代に演劇部だった経験をこうした形で生かすことができ、とてもありがたく思います。

毎年、地元の小中学生から人生の大先輩の方まで様々な世代の皆さんが力を合わせ、ひとつの作品をつくり上げます。古賀の歴史や風土を題材にした作品を上演しており、7回目となった今年の公演も大成功でした。

ダイコーンの最大の魅力は子どもたちの一生懸命さと成長が見られること。演技、ダンス、歌、そして、生き生きとした表情。「子どもの可能性はこんなに大きいものなんだ」と実感することができそうです。私も稽古から参加し、本番中に舞台袖から見るとそんな子どもの姿をいつも楽しみにしています。私と同じようにいつも友情出演をしているユカリクラシックバレエの皆さんの踊りも劇中の雰囲気高め、作品全体を深みのあるものにしてくださいます。

演劇は総合芸術。創作に参加すること、作品を観る

こと、みんなの力を合わせることで「ひとつの世界」をつくり上げる大切さを、現場で実感することができまます。ご来場いただいた皆さん、加藤誠一代表をはじめ劇団の皆さん、裏方で支えてくださった皆さんに心から敬意を表します。



バンコク都を公式訪問 古賀の消防車両の配備も確認！！

福岡県議会のタイ友好議員連盟事務局長として、11月25日～29日、友好提携を結んでいるバンコク都を訪問しました。今回は、バンコク都知事や都議会への表敬訪問と消防自動車の寄贈式、県人会の皆さんとの意見交換を実施するとともに、県の技術協力によって竣工した廃棄物処分場を視察・調査でき、有意義でした。また、私は事務局長として現地における司会や調整等の重要な仕事を任せられ、とても勉強になりました。

今回の訪問では、福岡県から既に寄贈した消防車両の活躍を知ること出来ました。消防関係者からは「福岡県からいただいた消防車両は活躍し、バンコク都民の命を守ってくれている。住民には必ず『福岡県からの贈り物』と説明している」との話も聞くことができました。古賀市消防団第17分団（谷山区）の消防ポンプ自動車もバンコク都内の消防署にしっかりと配備をされており、現地で確認することができました。車体に刻まれた「17」の数字がうれしいですね。引き続き、友好関係の深化のため、積極的に取り組んでまいります。詳細はブログの報告もご参照いただくと幸いです。



<田辺かずき プロフィール>



- 1980年5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業
(高51回、現在は同窓会顧問)
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社 / 福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会(～13年)
国際交流推進対策調査特別委員会(～13年)
- 2013年 新社会推進商工委員会(～15年)
防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会(～15年)
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選

【所属】福岡県議会・広域行政推進対策調査特別委員会 副委員長 / 同・農林水産委員会、議会運営委員会 / 同・タイ友好議員連盟事務局長 / 同・スポーツ議員連盟幹事 / 民主党福岡県第4総支部 幹事長 / 民主党青年委員会副委員長 / 全国青年都道府県議会議員の会(福岡県世話人)

【家族】会社員の妻、8歳の長男、5歳の長女

対話集会

対話集会を花鶴、青柳校区で開催！



対話集会を開催しました。小竹区公民館（11月30日）と花鶴丘3丁目区公民館（12月3日）で、私の本会議・一般質問や決算特別委員会の取り組みなどを踏まえ、貧困・格差対策や自治体間外交の重要性などを中心に活動を報告。意見交換も活発でした。ご参加いただいた多くの皆さんに心から感謝いたします。

みなさんと ともに 古賀での活動

もちつきを駆ける！
駆ける！駆ける！



年中、地元を回り、様々な地域行事に参加させていただいていますが、冬は各地のもちつきにおじゃましています。毎年、約20カ所。今年も多くの地域の皆さんと交流することができ、とても楽しい時間でした。